



HARA MUSEUM ARC

原美術館 + ハラ ミュージアム アーク = 原美術館 ARC

2021年4月、原美術館と別館ハラ ミュージアム アークの両館を統合し
群馬県渋川市にて「原美術館 ARC」（はらびじゅつかんあーく）としての活動をスタートします。



撮影：大沢誠一

展覧会「虹をかける：原美術館／原六郎コレクション」

第1期（春夏季）：2021年4月24日（土）—9月5日（日）

第2期（秋冬季）：2021年9月11日（土）—2022年1月10日（月・祝）

*特別展示室「観海庵」は、第1期、第2期ともに会期中各1回の展示替えがあります。

*新型コロナウイルス等の影響により、会期変更の可能性があります。最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

原美術館 ARC 初の展覧会は「虹をかける：原美術館／原六郎コレクション」展です。

虹は、当館を運営する財団の名称「アルカンシエール（Arc-en Ciel）」の和訳。そして人と人が美術を通じて対等に交流するための架け橋でありたいという財団理念のイメージであり、原美術館とハラ ミュージアム アークの個性を原美術館 ARC へと繋ぐ表象のようでもあります。また、光が屈折することで複数の色彩が可視化される虹という現象は、視点や角度を変えることによって見えないものが見えてくる、美術のあり方に通じるようにも思えます。

そして多様性や共存、平和の象徴とされることもある虹。そのような虹をテーマに、本展では、「原美術館コレクション」と「原六郎コレクション」から、性別も国籍も文化も異なるアーティストたちの多様な表現を展覧いたします。中心となるのは、理事長の原俊夫が2018年に企画した「現代美術に魅せられて」展の出品作品や（注1）、コロナ禍により中止を余儀なくされた原美術館最後の収蔵品展に展示する予定だった作品群です。さらに、奈良美智、宮島達男、森村泰昌の人

気常設作品がリニューアルされ、今後は原美術館 ARC の顔としてお楽しみいただきます。(注2)

暑い季節には通り雨も多い原美術館 ARC。雨上がり、東に大きく開けた空にかかる優美な虹と、自らの想像力や情熱をもってアーティストたちがかける創造の虹との両輪で、原美術館 ARC は今後、この場所だからこそ可能となる美術館のあり方を模索していきます。

(注1)「現代美術に魅せられて」展は、2018年、原美術館において、前期・後期の2期に分けて開催した展覧会。アルカンシエール美術財団の創立者で理事長、開催当時は原美術館館長を兼務していた原俊夫が初めてキュレーションを手掛けたことが話題となった。前期には主に1970年代後半～80年代前半の初期収蔵作品を、後期には、企画展の開催などをきっかけに収蔵された90年代以降作品を主に展示した。

(注2) その他の常設作品や屋外作品も順次移設予定。

出品作家 (予定)

全期：アニッシュ カプーア「虚空」、草間彌生「ミラールーム (かぼちゃ)」、宮島達男「時の連鎖」、森村泰昌「輪舞 (双子)」、奈良美智「My Drawing Room」、鈴木康広「日本列島のベンチ」、東芋「真夜中の海」

第1期 (春夏季)

現代美術：艾未未 (アイ ウェイウェイ)、カレル アペル、アルマン、今井俊満、トム ウェッセルマン、アンディ ウォーホル、エロ、河原温、アンゼラム キーファー、工藤哲巳、篠田桃紅、篠原有司男、ジャスパー ジョーンズ、杉本博司、ジャン デュビュッフエ、ルイズ ニーヴェルスン、ナム ジュン パイク、ルチオ フォンタナ、ジャクソン ポロック、ジョナサン ポロフスキー、クリスト、三木富雄、ロバート メイプルソープ、ロバート ラウシェンバーグ、ジム ランビー、李禹煥 (リ ウファン)、ロイ リキテンシュタイン、ジェームス ローゼンクイスト、マーク ロスコなど

古美術：狩野探幽「龍虎図」、円山応挙「淀川両岸図巻」など

第2期 (秋冬季)

現代美術：荒木経惟、安藤正子、アドリアナ ヴアレジョン、フランチェスカ ウッドマン、加藤泉、加藤美佳、アンゼラム キーファー、ウィリアム ケントリッジ、佐藤時啓、マリック シディベ、周鉄海 (シュウ テイハイ)、崔在銀 (チェ ジェウン)、ジェイソン テラオカ、ミカリーン トーマス、蜷川実花、クリスチャン ポルタンスキー、ジョナサン ポロフスキー、増田佳江、やなぎ みわ、柳幸典、米田知子、横尾忠則、ジム ランビー、ピピロッティ リスト、ジャン=ピエール レイノーなど

古美術：狩野派「雲龍図」、狩野派「層嶺瀑布図」など

<原美術館コレクション [現代美術] について>

「原美術館コレクション」は、公益財団法人アルカンシエール美術財団理事長の原俊夫が、原美術館設立時から収集した、1950年代から現在までの世界各国の現代美術コレクションです。原独自の視点で選ばれた同コレクションは、抽象表現主義やポップアートをはじめ、20世紀後半の美術史を彩った巨匠から21世紀のアートシーンで活躍している作家まで、多彩な表現を網羅しています。作品は絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションなど、多岐にわたり、約1,000点にのびります。

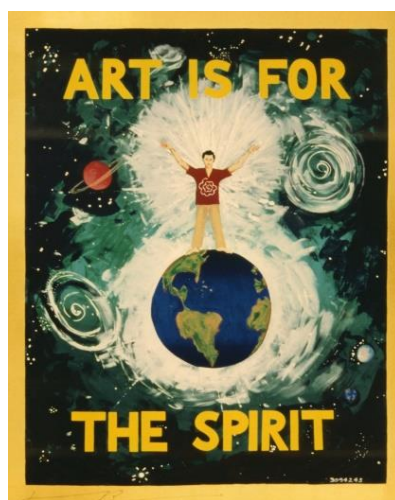
<原六郎コレクション [東洋古美術] について>

明治時代の産業振興に貢献した実業家、原六郎（1842-1933）が収集した古美術コレクションのうち、近世日本絵画を中心に、書、工芸、さらには中国美術など、約 120 点を所蔵しています。なかでも中国陶磁の真髄を伝える国宝「青磁下蕪花瓶」、浮世絵美人図の先駆けとなる重要文化財「縄暖簾図屏風」、円山応挙の大作画卷「淀川兩岸図巻」、永徳ほか狩野一門による「三井寺旧日光院客殿障壁画」が代表作です。

展覧会「虹をかける：原美術館／原六郎コレクション」 広報用図版
第1期（春夏季）：2021年4月24日（土）-9月5日（日） 出品作品



[図版1]



[図版2]



[図版3]



[図版4]

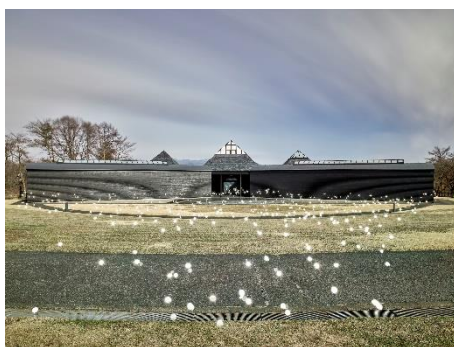
第2期（秋冬季）：2021年9月11日（土）—2022年1月10日（月・祝）出品作品



[図版5]



[図版6]

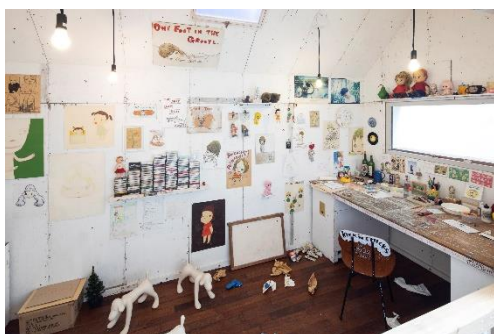


[図版7]



[図版8]

全期出品作品



[図版9]



[図版10]



[図版11]

[図版1] ジャン デュビュッフェ「二人の機械工」 1944年 カンヴァスに油彩 74x61cm © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2468

[図版2] ジョナサン ポロフスキー「芸術は精神のために No. 3094239」 1989年 シルクスクリーン 170.2 x 138.4 cm

[図版3] ジム ランビー「トレイン イン ヴェイン」 2008年 木製椅子、ハンドバッグ、鏡、油性ペンキ サイズ可変 撮影：木奥恵三

[図版4] 狩野探幽「龍虎図」 双幅 絹本墨画 江戸時代

[図版5] 安藤正子「雲間に潜む鬼のように」 2006年 カンヴァスに油彩 各140×220cm (2枚組)

[図版6] 加藤泉「無題」 2008年 木、アクリル、オイル、石 185×167×110cm 撮影：渡辺郁弘

[図版7] 佐藤時啓「光-呼吸 HaraArc#1」 2020年 ピグメントプリント 111.5 x 146 cm

[図版8] 狩野派「雲龍図」(三井寺旧日光院客殿障壁画) 双幅 紙本墨画 桃山～江戸時代(部分)

[図版9] 奈良美智「My Drawing Room」 2004/2021年 © Yoshitomo Nara 撮影：木暮伸也

[図版10] 鈴木康広「日本列島のベンチ」 2014/2021年 撮影：木暮伸也

[図版11] 草間彌生「ミラールーム (かぼちゃ)」 1991/1992年 ミクストメディア 本体200×200×200cm 撮影：齋藤さだむ

※ [図版1] ジャン デュビュッフェ「二人の機械工」、[図版11] 草間彌生「ミラールーム (かぼちゃ)」の図版掲載については、当館への掲載依頼後、別途各媒体からの著作権使用許可申請が必要です。掲載をご希望の場合は、まずは当館までご連絡ください。

原美術館 ARC について



ジャン=ミシェル オトニエル「Kokoro」 2009年
撮影：白久雄一

公益財団法人アルカンシエール美術財団(理事長:原俊夫)は、1979年に当時の日本では希少な現代美術専門館として、東京都品川区に「原美術館」を、1988年には群馬県渋川市に別館「ハラ ミュージアム アーク」を開館、この2館を舞台に、現代美術を通じた国際交流の推進と現代美術の活性化を軸に、アーティストとともに多彩な活動を展開してきました。1938年に邸宅として建てられた洋館を再生利用したユニークな企画で、多くの方々から支持されてきた原美術館は、2021年1月に東京での活動を終わりました。そして、原美術館とハラ ミュージアム アークを統合、ハラ ミュージアム アークを改称し、2021年4月、群馬県渋川市にて「原美術館 ARC」がリニューアルオープンします。運営母体の財団名「アルカンシエール／

Arc-en-Ciel (虹)」を象徴する「ARC」には、「アートセンター」の意味も含まれます。多種多様な人々が集い、新たな価値を創造する場としての活動を、今後も「原美術館 ARC」で続けてまいります。

建築について

原美術館 ARC は、上毛三山のひとつに数えられる榛名山麓の高原に位置します。この緑豊かな敷地に作られた、黒い色調のシャープな木造建築を手掛けたのは、「建築界のノーベル賞」とも言われるプリツカー賞を 2019 年に受賞し、世界的に活躍する建築家・磯崎新です。ピラミッド型の屋根が印象的なギャラリーA と、その両翼にシメト



然光が降り注ぎ、現代美術作品の鑑

賞に適した端正な空間です。一方、木、石、和紙、漆喰などを用い、内部のいたるところに名工の技が光る特別展示室「観海庵」は、書院造をモチーフにした静謐な和風空間。磯崎新は原六郎コレクションの「三井寺旧日光院客殿障壁画」がかつて飾られていた滋賀県・三井寺（園城寺）の旧日光院客殿の書院造に想を得て「観海庵」を設計しました。



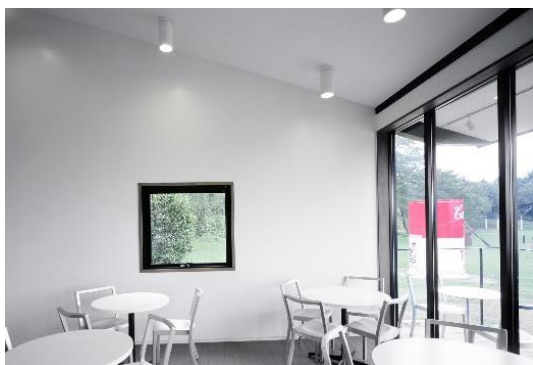
開架式収蔵庫

開架式収蔵庫に保管している一部の原美術館コレクションは、学芸員や評論家、教育・研究機関に所属する方など主に美術の専門家を対象に、作品の鑑賞・調査が可能となっています。また、一般の方向けには、随時、庫内のガイドツアーも行っています。どちらも予約制です。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在ガイドツアーは休止しております。再開の際には当館ウェブサイトでご案内いたします。



カフェ ダール



大きな窓と高い天井が心地よいカフェ ダールでは、群馬県産の新鮮な食材を活かした特製サンドウィッチやパスタなどのお食事や、伊香保グリーン牧場オリジナルアイスクリームなどをご用意しています。週末には展覧会をイメージして作られた「イメージケーキ」もお召し上がりいただけます。

ザ・ミュージアムショップ

ザ・ミュージアムショップでは、展覧会カタログや関連書籍から、アーティストグッズ、デザイン小物やアクセサリなど、現代美術を暮らしに取り入れ、お楽しみいただける商品を取り揃えています。また、日本の伝統技術を感じさせるモダンな商品や、群馬ゆかりの作家を紹介するなど、お土産やギフト、旅の話題を探すにもぴったりのショップです。



周辺情報

原美術館 ARC 周辺には、動物とのふれあいを楽しめる「伊香保グリーン牧場」、名門ゴルフコース「伊香保カントリークラブ」、古くから湯治場として知られる「伊香保温泉」、「水澤観音」の名で親しまれる「水澤寺」などのレジャーや観光スポットも。豊かな緑と広い空、アートと共にゆったりとした休日のひとときをお過ごしください。

施設写真 (P.6-7 / 観海庵内観除く) 撮影：齋藤さだむ

開催要項

展覧会名 虹をかける：原美術館／原六郎コレクション

主催・会場 原美術館 ARC

開館時間 9:30 am-4:30 pm (入館は 4:00 pm まで)

休館日 木曜日(祝日と 8 月を除く)、展示替え期間、1 月 1 日

入館料 一般 1,100 円、大高生 700 円、小中生 500 円、70 歳以上 550 円

- ・原美術館メンバーシップ会員は無料、学期中の土曜日は群馬県内の小中学生の入館無料
- ・ぐーちょきパスポートをご提示の方、障がいのある方は特別料金規定あり
- ・団体についてはお問合せください
- ・伊香保グリーン牧場とのセット券(一般 1,800 円、大高生 1,500 円、中学生 1,400 円、小学生 800 円)※ 5 月 2 日(日)、3 日(月)、4 日(火)は、販売を中止します。

※カフェ、ミュージアムショップのみご利用の場合も原美術館 ARC への入館料が必要です。

住所 群馬県渋川市金井 2855-1 〒377-0027

Tel 0279-24-6585 E-mail arc@haramuseum.or.jp

ウェブサイト <https://www.haramuseum.or.jp>

交通案内

・JR 上越／吾妻線「渋川駅」(上越／北陸新幹線利用の場合は「高崎駅」で上越／吾妻線に乗り換え)より、関越交通バス「伊香保温泉」行き(3 番のりば)にて約 15 分、「グリーン牧場前」下車、徒歩 5 分。または「渋川駅」よりタクシーで約 10 分。

・お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保 I.C.」より 8 km、約 15 分。(無料駐車場 50 台、大型バス駐車場 2 台)

【JR 乗換案内例】 *2021 年 2 月現在。ご利用の際は時刻表をお確かめください。

上越・北陸新幹線（平日・土日とも）

- ・東京駅 7:52 発 <はくたか 553 号>→高崎駅 8:42 着／8:53 発 [吾妻線 大前行] →渋川駅 9:19 着／9:25 発 関越交通バス [伊香保温泉行] →グリーン牧場前 9:40 着
- ・東京駅 10:40 発 <とき 317 号>→高崎駅 11:33 着／11:44 発 [吾妻線 長野原草津口行] →渋川駅 12:08 着／12:14 発 関越交通バス [伊香保温泉行] →グリーン牧場前 12:29 着

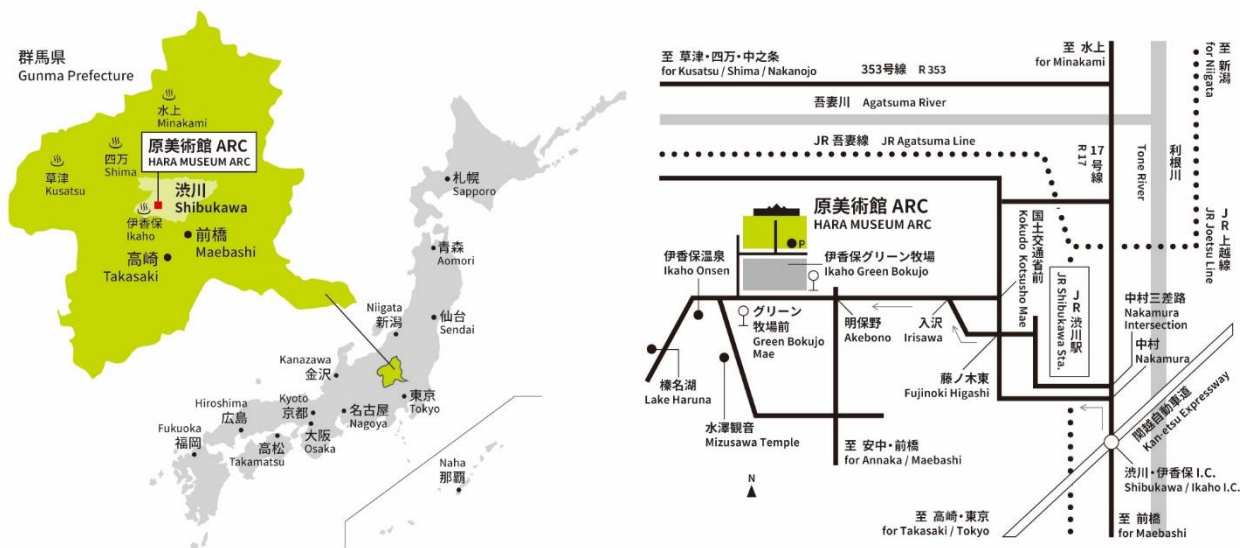
特急「草津」（草津 31 号は土休日のみ運行）

- ・上野駅 9:00 発 <草津 31 号>→渋川駅 10:38 着／10:55 発 関越交通バス [伊香保温泉行] →グリーン牧場前 11:10 着
- ・上野駅 10:00 発 <草津 1 号>→渋川駅 11:36 着／11:42 発 関越交通バス [伊香保温泉行] →グリーン牧場前 11:53 着
- ・上野駅 12:12 発 <草津 3 号>→渋川駅 13:50 着／13:55 発 関越交通バス [伊香保温泉行] →グリーン牧場前 14:06 着

【高速バス/JR バス上州ゆめぐり号】

新宿駅⇄渋川駅・伊香保・草津温泉

*詳細は ジェイアールバス関東のサイト <http://www.jrbuskanto.co.jp/>よりご確認ください。



展覧会「虹をかける：原美術館／原六郎コレクション」担当学芸員：坪内

取材・図版提供など広報に関するお問い合わせ：原美術館 ARC 広報 野田、山川

E-mail : press@haramuseum.or.jp Tel : 0279-24-6585 Fax : 0279-24-0449

Twitter: @haramuseum_arc Instagram: haramuseumarc